

2022年度4Q リーダーシップ道場8

水曜3-4限 10:45-12:25

第5回：方針発表・ピアレビュー

2023.1.18

リベラルアーツ研究教育院 教授

中野民夫

2022年度授業予定

第1回 12/7	1. イントロダクション , (自己紹介, 相互インタビュー) リーダーとリーダーシップの違い
第2回 12/14	自身のリーダーシップ観やリーダー経験を他者と共有する。
第3回 12/21	リーダーシップの多様性を認識、理解し、必要性の是非含め他のメンバーと議論する
第4回 1/11	中間発表準備 (クラスは開講しない) →オプション中野特別授業1: マインドフルネス
第5回 1/18	最終課題方針発表とピアレビュー
第6回 1/25	最終発表準備 (クラスは開講しない) →オプション中野特別授業2: コンパッション
第7回 2/1	最終課題第1稿発表と振り返り →後日、最終版提出

今日の流れ

- 10:45 オリエン、復習、今後に向けて
- 11:05 グループワーク1 (45分) 4人で
 - 顔合わせ、宿題共有、最終課題方針ピアレビュー1
- 11:55グループワーク2 (20分) 3人で
 - 顔合わせ、最終課題方針ピアレビュー2
- 12:15 次回に向けて確認、フィードバック記入
- 12:25 終了

最近話題の「マインドフルネス」

- 漢字では「**念**」（パーリ語のsati、八正道の「正念」）
 - 「**今**」の「**心**」：Present mind、今ここへの気づき
- ベトナム出身の仏教者ティク・ナット・ハン
 - 「瞑想とは、何も考えないことではなく、今ここで起こっていることをただはっきりと知ることです」
- 今ここで（自分の中で）起こっているありのままを知る。
 - **一切のジャッジメント（判断・評価）なしに。**
 - 身体、感覚、感情、思考から、次第に周囲や世界で。
 - 過去の後悔や未来の不安に持っていかれず、怒りや後悔など感情に溺れず、ただあるがままに気づく。
- Googleがマインドフルネス・リーダーシップ研修：『サーチ・インサイド・ユアセルフ』、禅、瞑想、脳科学を駆使しビジネス界で話題に

マインドフルネス・プラクティス（実修）へ
調身・調息・調心

- 調身 : まず身体を調える
- 調息 : すると息が調う
- 調心 : そしてようやく心も
調う

マインドフルネスの プラクティス（実修・実践）

- 基本は、「呼吸」に気づくこと conscious breathing
 - 息を吸っている時、自分は息を吸っていると気づく
 - 息を吐いている時、自分は息を吐いていると気づく
 - 入息・出息のありのままを意識する。
- さらに、少しずつ日常生活へ
- 「歩く」瞑想
 - ただ今ここで、歩くことを楽しむ。呼吸を数えながら。
 - 何か見たり聴いたりしたい時は、立ち止まって
 - <https://www.youtube.com/watch?v=oRAFQDwMGh0> Googleで
- 「食べる」瞑想
 - 何を食べているのかよく観て、一口ずつ丁寧に味わう。
 - どこから来てる？お箸を置いて、ゆっくり百回噛むつもりで。
- →日常の中で、今ここで起こっていることをハッキリと知る
 - 自分の身体で、感覚、感情、思考、周囲・・・世界・・・

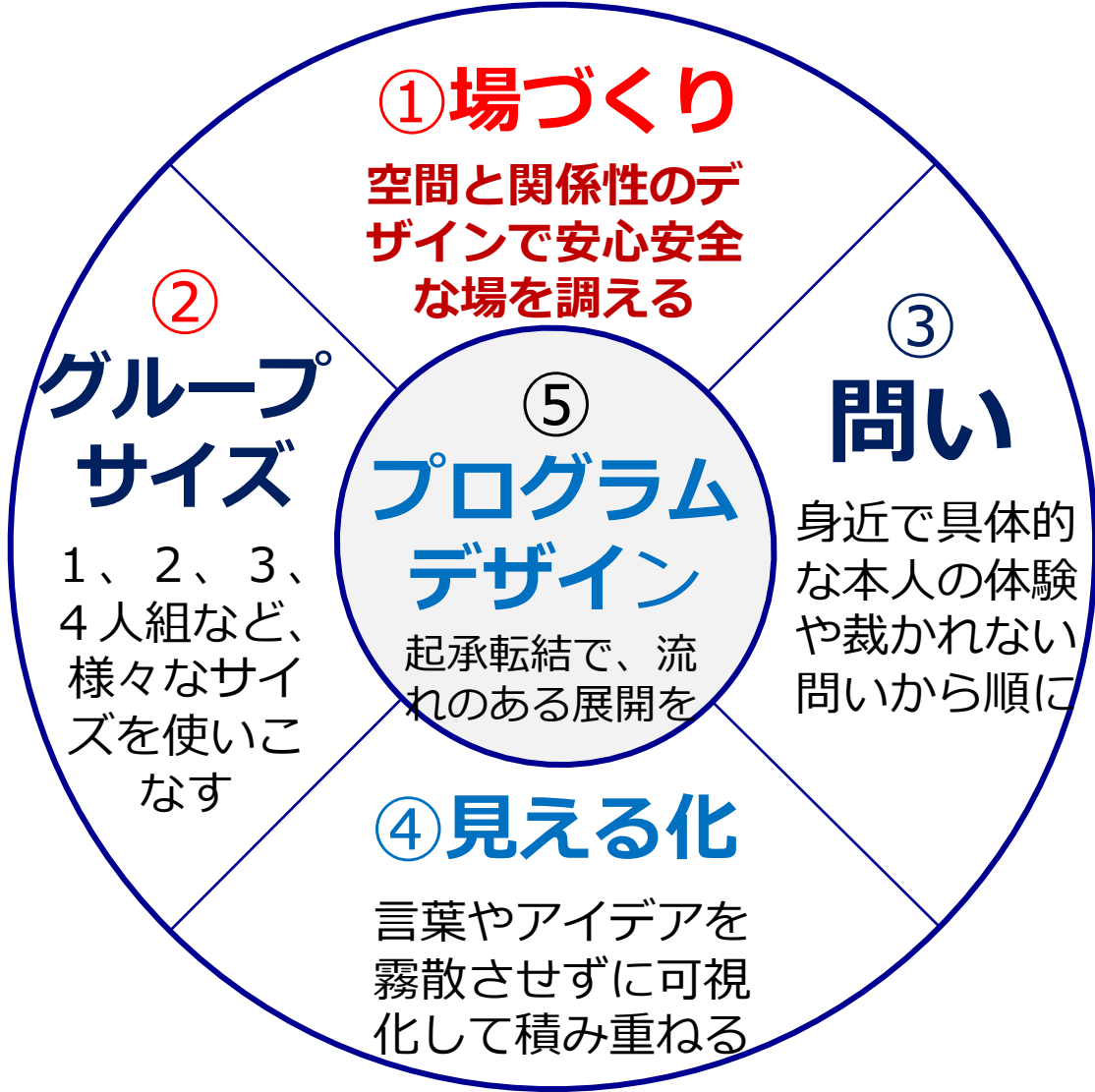
リーダーシップ研究の新潮流

『これからのリーダーシップ』（堀尾志保・館野泰一著、JMAM、2020）
131p-169pから抜粋

- 1. LSは公式のリーダーだけのものではない
- 2. シェアド・リーダーシップ
- 3. コレクティブ・ジニアス
- 4. DACフレームワーク
- 5. サーバント・リーダーシップ
- 6. オーセンティック・リーダーシップ
- 7. 非役職者によるインフォーマル・リーダーシップ
- 8. (追加)ファシリテーション

学び合う場をつくる ファシリテーション基礎スキル

復習



『学びあう場のつくり方』（中野民夫、岩波書店）より



第3回12月21日のFBシートから

- ファシリテーション= 促進 縁の下の力持ちとしてグループの各個人の力を引き出すのが大切。
- グループワークでみんなと対話し、リーダーシップは何が正解とかではなく、その組織に合うようなリーダーシップを発揮した方が最も良いのではないかと思いました。支援型リーダーシップについて自分の意見だけではなく、新しい視点から考える意見がたくさん聞けました。また、会話、対話、議論についてきちんと分けて考えるようになりました。
- ファシリテーターにおける基本的な視点を学んだ。教職課程を履修している自分としては、今後の主体的な学びの補助における視点を再確認できた。特に、精神的安全性の確保という視点は授業設計時にとても重要だと感じたので、大事にしていきたい。
- ファシリテーターのイメージが変わった。私が従来イメージしていたものは「シキリテーター」であったと知った。

【重要】最終レポートの課題

- 現代の多様なリーダーシップ観を意識、類型を踏まえ、
 - 過去の自身の経験や実践等の事例、データ、資料、文献等を3つ以上具体的に挙げながら、
 - 現状や今後の展望等について、
 - 議論を論理的に展開せよ。
- (+ 中野の基準：オーセンティックに！)
- 3000字程度。

「ピアレビュー」ってなに？

支援型リーダーシップの一つ

- **Peer（仲間）でReview（批評）することです。**
 - 学会誌に投稿するとピアレビュー（査読）の手続きがあります。この場合、peerは学界の仲間。
 - 学問の発展のために、建設的な意見を書きますし、無料で行うことが多いです。
 - 一方、欠点を挙げることも重要。誰にも盲点あり。
 - 適切なピアレビューをできることは、LSとして重要
- **今回のピアレビューでは、本人が表現したいことをまずは理解し、受け止め、もっと良くするにはどうしたら良いか、の立場でフィードバックしあいます。**
 - まずは良い点を褒めることから。次第に改善点を。
 - 言い訳よりも、他者からの指摘は、謙虚に受け取ろう。

注意！！

- レポート作成における不正行為は決して行わないで下さい。ここでいう不正行為とは、
 - 剽窃（明確に出典を示すことなしに他者が書いたものを使用すること）→引用文献（URL+検索日時）を必ず記載・引用時にすぐ記載する癖を。
 - 過度の協力（科目担当者の許可なく他者と過度の協力すること）
 - 複製の提出（全ての科目担当者の許可なく同一のレポートを複数の科目に対して提出すること）
- レポート作成時の不正行為は、期末試験におけるカンニング等の不正行為と同じく、懲戒処分の対象になります。科目担当者の指示に従わずレポート作成にける不正行為を行って懲戒処分を受けると、当該学期に履修申告した全ての科目の成績が0点となります。

書き方の工夫 tips

- 読者は上から読む．重要なことは先に．
タイトルで内容が分かるとベスト．
 - Effect of A on B よりも A increases B.の方がインパクトが強いし，内容は分かりやすい（良いデータでないと，そうは書けないけれど）
- 起承転結は、レポートや論文では使われない．
- 自分と他者の意見，事実と意見の区別を明確に．

魅力的なタイトルへ

- 「私たちにとって必要なリーダーシップ」
 - →読みたいかな・・・
- 「リーダーシップには傾聴が重要である」
- 「私には傾聴が必要」
 - →傾聴について書いていることが分かる
- 「私は耳が欲しい」
 - →ここまで来るとやりすぎの場合もあるけれど、挑戦の価値あり。

「ピアレビューや文章作成など、知らなくてもいいのでは」とは言っていない。

- 理系研究者（企業・大学とも）にとって重要な仕事は、実験データを基にした論文執筆や研究費・プロジェクトの申請書執筆である。
 - 理系といえども、書くことをないがしろにしては生きていけない。
 - 2013年度の研究者1名当りの論文執筆ページ数（村井源，山元啓志，林直亨予備調査）
 - 東工大 平均 27.5ページ > 一橋大 平均 20.8ページ
 - 東工大では，研究助成金申請書（15ページ程度）を平均1つは提出。
- 文書は一人で書くのではなく，複数名で分担することも多い。リーダー・フォロワーとして文書を練る作業も必要である。

12/21から今日2023年1月18日 までの課題

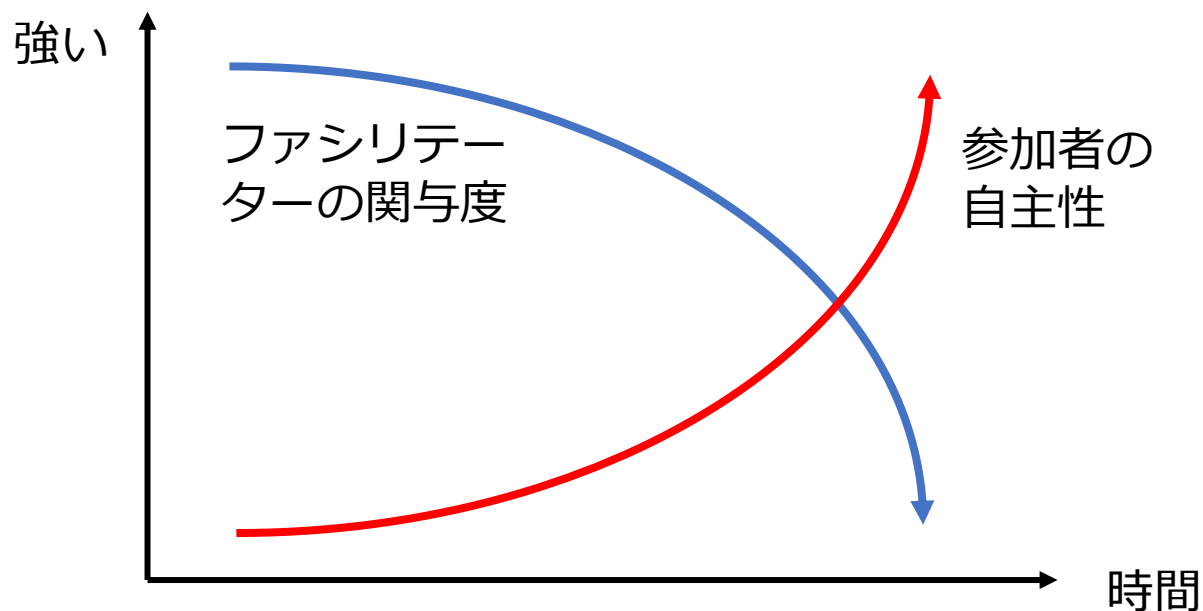
- 1月11日：オプション（マインドフルネス） 中間発表準備（クラスはなし）
- 1月18日：最終課題方針発表とピアレビュー
- **宿題1：LS探究：さらに今日までの学び、気になったことを手がかりに、TEDなどネットや書籍・論文などから任意の2点を選択し、それぞれ要約と論点を作成（最終レポートに活かすため）**
 - 400字程度×2、1と合計A4、1枚程度（パワーポ数枚でも良い）
 - 次回までに提出、シェアしやすい形で持参し画面共有
- **宿題2：最終課題の方針作成**
 - 最終レポートでまとめたいこと、大まかな構成
 - パワーポイント4-5枚か、ワード等A4一枚程度
 - 次回発表しやすい形で持ち寄って発表し、ピアレビュー（もっとよくするためのフィードバック）しあう。*この時点では提出不要

【重要】最終レポートの課題

- 現代の多様なリーダーシップ観を意識、類型を踏まえ、
 - 過去の自身の経験や実践等の事例、データ、資料、文献等を3つ以上具体的に挙げながら、
 - 現状や今後の展望等について、
 - 議論を論理的に展開せよ。
- (+ 中野の基準：オーセンティックに！)
- 3000字程度。

＜ファシリテーションのツボ＞
皆が生き生きする参加型授業へ
ファシリテーター練習のチャンス！

- 最初は丁寧に場づくり、徐々に信頼し委ねる。
 - →自分たちで一緒に創るって、楽しい！



グループワーク 1

45分預けます

- 4人組。何かのご縁。誰かファシリテーターをぜひかって出て！
 - 習うより慣れよ！話す順（50音順、誕生日順、話せる人から、等）も決めて。まずは顔合わせ（自己紹介）で一巡。宿題も一人が一度に話すより、一つずつ回そう。タイムキープ大事！
- **1. 顔合わせ：所属・名前+a（新年の抱負など）各1'**
- **2. 宿題1：LS探究：今日までの学び、気になったことを手がかりに、TEDなどネットや書籍・論文などから任意の2点を選択し、それぞれ要約と議論を作成 2'（ここまでで20分、合図します）**
- **4. 宿題2：最終課題の方針 3'+ピアレビュー3'(全員一言)計6'**
- 45分めど（1分×4人+ 2分×4人+ 6分×4人+ 1分自由に）

どんな具合ですか？

3人組でもう1ラウンドやろうか

グループワーク2

最終課題のピアレビューに絞って

- 4人組に分けます。（予定の3人組を変更）
 - 前に1、2、3、4番に話した人ごとに。
- 残った人がファシリテーターよろしく。
- **1.顔合わせ：所属・名前・今年の抱負など 1分で1周**
- **2。前のグループのトピック少々**
- **3.宿題2：最終課題の方針3分+ピアレビュー2分**
- 時間は22分。

1/18から2/1への課題

- ~~出席課題：振り返りと所感（300字程度。当日までにオンラインで提出、次回持参）~~ → **フィードバックでOK**
- 第6回1/25はオプション：コンパッション
- 第7回最終回2/1までの課題：
 - **最終課題レポート第1稿（3000字程度）**
 - **概要説明のパワポ3～5枚程度を用意**
- その後、ピアレビューを生かして加筆修正し、2022年2月7日火曜23:50までに最終稿を提出

東工大退職記念 中野民夫最終公演



- 2月28日(火)15:00からどなたでも。
- 東工大大岡山キャンパス西9号館
 - 対面 または オンライン
- 2月28日最終公演ウェブサイト
 - <https://takashitakao.net/nakanotamiolive/>
 - 申し込み登録
 - <https://forms.gle/bfM32mzUitweQtZJ7>

最後にフィードバックシート

- 今日の気づき・発見、学びは？
- 少し振り返って、何がどう学びになったのか、丁寧に記述してみてください。
- https://docs.google.com/forms/d/1XvYkX7KrhIfSlaJTCuZHPMcI_h2sUcMdoYbpCTxI00M/edit
- <注意！>
 - 万一、授業にフル参加してなかったのに、このシートを書いて提出するのは不正行為。
 - 東工大ルールで当Qの全ての授業の単位が取り消されますので注意。



【重要】最終レポートの課題

- 現代の多様なリーダーシップ観を意識、類型を踏まえ、
 - 過去の自身の経験や実践等の事例、データ、資料、文献等を3つ以上具体的に挙げながら、
 - 現状や今後の展望等について、
 - 議論を論理的に展開せよ。
- (+ 中野の基準：オーセンティックに！)
- 3000字程度。